

やまぐち 市議会だより

6
3月
定例会
9
12

NO.63

子育て、教育なら山口!
『待機児童ゼロ』に向けた
こども園の充実!



山口みなみこども園 園舎完成記念式典

定例会ピックアップ.....	2
議案の審議結果.....	5
委員会ア・ラ・カルト.....	6
市長に聞きたい!.....	8
議会からのお知らせ.....	14

「共に進める 未来都市づくり」予算

3月 定例会

令和4年度

一般会計

904億3千万円

可決

2022年
2/18～3/17

上程された議案

予算

22件

条例

15件

事件議決

9件

諮問

3件

議員提出

1件

委員会提出

2件

令和4年度は、第二次山口市総合計画前期基本計画の最終年度であり、第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中間年度となる節目の年です。

農山村エリアの人口減少、大都市圏への転出超過、少子高齢化の進展などの諸課題への対応をスピード感をもって進め、社会全体のデジタル化や地域脱炭素などの新たな時代の潮流への対応を、実装可能な最新技術もフル活用しながら、コロナ禍にあっても地域経済の活性化につなげていくための様々な事業を展開する予算となっています。



「〔仮称〕湯田温泉パーク」
完成イメージ
左：全天候型大屋根広場
右：施設全景（正面）



市報4月1日号
で令和4年度
予算を詳しく
チェック！



議員から、多角的な意見が活発に出される!!

鑄銭司第二団地整備事業について

- 国道2号の4車線化の早期実現や、雇用拡大、人口増、周辺地域への波及など大局的な効果を見据えて責任と覚悟をもってやり遂げていただきたい。

市役所内山口銀行の派出所化・ATMの廃止について

- 本年4月からのATM廃止、10月からの派出所化（一般の銀行窓口業務が廃止され市税等の納付受付のみとなる）については、十分な市民への周知とスムーズな移行を求める。
- 新本庁舎の整備においては、コンビニATMを確保するなど利便性向上に努めていただきたい。

小中一貫教育に向けた取組について

- 本市ならではの小中一貫教育に向けた取組が始まり、コミュニティ・スクールのさらなる進化に期待する一方で、小学校と中学校の距離が比較的遠い学校が多い本市において、小中一貫校の開設につながるのかにも注目している。

事前評価委員会の設置について

- 大規模事業開始にあたっては、まず事前評価委員会を設置し、事業目的、規模、予算、財源構成、効果などを明確にするための審議が必要である。

国民健康保険制度について

- 今回の賦課限度額の引上げは国の制度変更によるものではあるが、本市の国民健康保険の保険料体系の中では、低所得者層の負担を軽減する工夫がなされており評価する。

新本庁舎及び〔仮称〕湯田温泉パークについて

- 多額の税金を費やして策定した当初の基本計画の大幅変更や規模拡大により総事業費が過大となっており賛成できない。
- 山口都市核づくりの主要プロジェクトとして非常に重要な取組であり「ひと・まち・未来にやさしい市役所」となるよう期待する。

新型コロナウイルス感染症へ全力の対策を!!

ピックアップ
pick up

市民の暮らしと経済を守り抜き、元気を取り戻すため、新型コロナウイルス感染症経済対策第11弾に基づく取組を進めます。

新型コロナウイルスワクチンの接種

【17億6,843万円】（一部補正）

新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種について希望する市民が速やかに接種を受けることができる体制を確保します。

安心の検査体制の確保【6,826万円】

山口市休日・夜間急病診療所敷地内の「地域外来・検査センター」の運営を引き続き行います。学校活動等で県外を訪れた小・中学生等へのPCR検査の実施【1,500万円】

市内事業者の「新しい生活様式」への対応支援【3,000万円】

「エール!やまぐち」プレミアム共通商品券の発行支援【7億1,000万円】（補正） など



指摘・要望

- 消費喚起の取組、事業継続に資する「抗原検査キット」も対象に加えた、新しい生活様式導入応援補助金の拡充による効果や中小企業支援総合相談窓口のワンストップ対応に期待する。

新たな賑わいの創出と回遊性の高い歩行空間の形成、歩きたくなるまちづくりを!!

ピックアップ
pick up

「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」に基づき中心市街地エリアの活性化に取り組めます。



地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」

中心市街地まちなみの魅力向上支援事業【5,300万円】

- 問** 空き店舗の改修等には所有者の合意が必要となるが、どのように取り組むのか。
- 答** 遊休不動産の所有者にチラシを配付するなど改修への補助制度の周知を図る。商店街組合やタウンマネージャー等とも連携しながら、商店街空間の魅力向上につながる取組や空間整備を積極的に支援していく。

農山村エリアの地域活性化を!!

ピックアップ
pick up

農林水産業の振興を図るため、経済産業部から農林政策課、農林整備課、水産港湾課を、また、地域生活部から定住促進課を移管し、新たに農林水産部が創設されます。（14ページに関連記事あり）

新 農山村エリアにおける起業創業の支援【2,000万円】

地域資源を活用し起業・創業する際に必要となる施設整備や機器の取得等を支援します。



若者の活躍にも期待

新 農山村元気拠点づくり支援事業【1,190万円】

地域団体やNPO法人等が行う地域の将来像や具体的な目標、取組を位置づけた「地域の将来計画」の策定に当たり専門家派遣等を支援します。



農林水産業の雇用を創出

新 関係人口創出促進事業【1,100万円】

新 市内21地域の農山村エリアにおける地域経済の活性化 など



指摘・要望

- 人口減少が進んでいる農山村エリアの活性化を図ることは重要政策の一つである。この度の組織改編により基幹産業である農林水産業の振興や移住定住が促進されることに期待する。
- 高い専門性が求められることから外部人材の活用や職員のスキルアップ、組織づくり等に積極的に取り組んでほしい。

安心して自立した生活ができる障がい福祉の充実を!!

ピックアップ
pick up

新 手話による市政情報の発信

山口市みんなの手話言語条例の制定を契機に新たな取組が始まります。（7ページに関連記事あり）

山口市みんなの手話言語条例

条例制定の経緯や目的等については、市議会だより（第62号）または市議会ホームページをご覧ください。



市議会ホームページ

新本庁舎の建設等に関する 調査特別委員会 ～最終報告(要旨)～

本委員会は、平成30年12月14日の設置から3年余りの間、24回にわたる委員会の開催に加え、県内外の先進市への視察や、議会機能の整備に関する協議会の開催など、様々な観点からの調査・検討を進めてきました。

2月8日の委員会において、基本設計の最終案に係るパブリックコメントの状況等の説明に対する質疑に加えて、今後の実施設計や建設工事などに関して、委員会から総括的な意見として次の3点を申し述べました。

- ・100年先まで長く市民に愛される庁舎となるべく、今後の実施設計や建設工事、さらには竣工後の運用のそれぞれの段階における検討を深め、県都としての山口市にふさわしい、また、ポストコロナの時代にも重なる令和の時代にふさわしい、よりよい庁舎建設につなげていくための一層の取組を求める。
- ・庁舎建設に関する様々な情報については、市議会はもとより市民にも広く提供していただき、建設への理解を求める不断の努力をお願いします。
- ・基本計画時に比べて大幅な増額となった事業費については、施設機能を確保した上で、建設コストの縮減に向けた取組をより一層進めていくことを求める。

新本庁舎の建設事業は、令和6年度の新本庁舎棟の竣工、令和8年度の市民交流棟と新立体駐車場などの竣工に向けて、今後、実施設計や建設工事が本格化します。市議会としても、これまでの本委員会での議論の経過等を十分に踏まえた上で整備の進捗に応じた新たな議論を進めることで、県都にふさわしい市民に愛される庁舎建設につなげることを求めます。

新本庁舎完成イメージ

(新本庁舎棟:令和6年度竣工、市民交流棟・立体駐車場:令和8年度竣工)



国へ提出します!!

最終日に経済建設委員会から提案され、全会一致で可決しました。

意見書の全文は、市議会ホームページに掲載しています。



生活と事業を守るための全産業における 経営支援の一層の充実を求める意見書 (委員会提出)

新型コロナウイルス感染症の拡大、燃料油価格の高騰などにより不安定な経営を余儀なくされている中小企業・小規模事業者に対し、実態に即した経営支援を行うよう国に求めるものです。



意見書の全文
(市議会ホームページ)

3月3日

『ロシアのウクライナ侵攻に 抗議する決議』(議員提出) 全会一致で可決!!

2月24日に開始されたロシアによる軍事攻撃に対し、抗議と非難の意を表明するとともに即時の攻撃停止と完全撤退を求め、政府においては、ウクライナ在留邦人の安全確保、国際社会と連携した迅速かつ厳格な対応を行うよう要請するものです。

決議の全文は市議会ホームページに掲載しています。



決議の全文
(市議会ホームページ)



議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和4年度山口市介護サービス事業特別会計予算
- 令和4年度山口市地域下水道事業特別会計予算
- 令和4年度山口市国民宿舎特別会計予算
- 令和4年度山口市特別林野特別会計予算
- 令和4年度山口市水道事業会計予算
- 令和4年度山口市簡易水道事業会計予算
- 令和4年度山口市公共下水道事業会計予算
- 令和4年度山口市農業集落排水事業会計予算
- 令和4年度山口市漁業集落排水事業会計予算
- 令和3年度山口市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 令和3年度山口市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 令和3年度山口市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 令和3年度山口市駐車場事業特別会計補正予算(第3号)
- 令和3年度山口市国民宿舎特別会計補正予算(第2号)
- 令和3年度山口市公共下水道事業会計補正予算(第1号)

条 例

- 住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例
- 山口市事務分掌条例の一部を改正する条例
- 山口市個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 山口市職員定数条例の一部を改正する条例
- 山口市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市立学校施設使用料徴収条例及び山口市体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市立認定こども園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例
- 山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 山口市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 山口市駐車場条例を廃止する条例
- 山口市消防団員の定員、任免、服務、報酬等に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市議会の議員の議員報酬及び非常勤の職員の報酬並びに費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び山口県市町総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに規約の変更に関する協議について
- 山口県市町総合事務組合の財産処分に関する協議について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の認定について
- 湯田中学校管理・教室棟長寿命化改良工事の請負契約の一部を変更することについて
- 令和3年度山口市一般会計補正予算(第14号)に関する専決処分について
- 山口市使用料、手数料徴収条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 教育委員会の委員の任命について(敬称略)
鮎川 友子(新任)
- 公平委員会の委員の選任について(敬称略)
岡本 充(新任)

諮 問

- 人権擁護委員の候補者の推薦について(3件)(敬称略)
灰田 信子(再任)
伊川 利通(再任)
中村 純子(再任)

議 員 提 出

- ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議

委 員 会 提 出

- 生活と事業を守るための全産業における経営支援の一層の充実を求める意見書の提出について
- 山口市議会委員会条例の一部を改正する条例



慎重な審議の結果、
今定例会では52議案を
可決しました。

賛否が分かれた議案と審議結果 (○は賛成、×は反対)

議 案		審 議 結 果	自由民主党山口	県都創生山口	公 明 党	ふるさと共創やまぐち	高 志 会	日 本 共 産 党	市 民 ク ラ ブ	地域政党やまぐちの風
予 算	令和4年度山口市一般会計予算	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○
	令和4年度山口市国民健康保険特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○
	令和4年度山口市後期高齢者医療特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○
	令和4年度山口市介護保険特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○
	令和4年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○
	令和3年度山口市一般会計補正予算(第15号)	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○
	令和3年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○
条 例	山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○
	山口市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○

山口市議会では、「総務」「教育
民生」「生活環境」「経済建設」「予
算決算」の常任委員会を設置し
各委員会が所管する部局の議案
や業務等の審査・チェックをしてい
ます。

各委員会の所属議員、
所管する部局、日程など、
詳しくは市議会ホーム
ページに掲載しています。



鑄銭司第二団地（産業団地）の 売却の見込みは

経済建設
委員会



鑄銭司第二団地の完成予想図（令和
4年度完成予定）

造成工事も進ん
でおり、令和4年
度からの分譲開始
を予定している。

分譲は、令和2
年9月に改定した
「山口市地域開発
事業経営戦略」に
基づき進めること
としている。今定
例会において全体
の事業費のうち水

道施設、公園整備等の公共的な工事費につ
いては、土地を購入する企業の負担ではな
く市（一般会計）の負担とする補正予算議
案を提案しており、これにより確定した総
事業費等をもとに分譲価格を決定する。

今後は、企業に立地を検討していただく
ためのセールス活動を行うとともに立地に
対する優遇措置の検討など、積極的な企業
誘致活動に取り組んでいく。

（担当部局：経済産業部（現 商工振興部））

委員の意見

- ・雇用創出、税収増、地域の活性化など本市のさらなる発展に
つながるものと期待しており早期の売却に向けた取組を求める。
- ・今の段階になって新たに一般財源が投入されるなど、計画がず
さんであったと考え賛成できない。



令和4年度における 小中一貫教育の取組は

教育民生
委員会

令和4年度における小中一貫教育の取組として、これまでの
地域ぐるみで子どもたちの育ちと学びを支援していく地域連携
教育の取組に小中一貫教育の視点を加えていく作業を進める。

小中一貫教育の意義やねらい、効果などにつ
いて先進事例の研究や関係者などの意見を踏ま
えながら、基本方針の策定を進めていきたいと
考えている。

（担当部局：教育委員会）



保護者同士の縦と横のつながりの 創出に向けて

教育民生
委員会

保護者同士の交流の場である
「保護者カフェ」は、家庭教育支
援の取組として、これまで主に
学校において積極的に開催し、
保護者同士の横のつながりを創
出してきた。

令和4年度からは、進学や進
級などの環境変化への不安や戸
惑い等に対する家庭教育の側面
からのアプローチとして、新た
に地域交流センター等において
も地域やPTAと連携して「保
護者カフェ」を開催し、幼保、小・
中学校各世代の保護者同士が集
い交流することで縦のつながり
の創出を図ることとしている。

（担当部局：教育委員会）



知識・経験豊富なアドバイザーを交えて語り合う

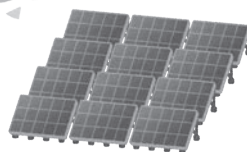


メガソーラー開発等に対する 市の考えは

令和3年12月に「山口市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを目指し、積極的に太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及促進に取り組んでいくこととしている。

また、開発による環境破壊の問題や山林開発による土砂災害等に対する市民の不安についてもしっかりと受け止め、令和4年度に改定する山口市環境基本計画、山口市地球温暖化対策実行計画のなかで、推進や規制のあり方についても議論していく。

(担当部局：環境部)



委員の意見

- ・今後、太陽光パネルが廃棄物として大量に発生する可能性がある。その処分については、市も考えておく必要があるのではないかな。
- ・太陽光発電を推進するにしても規制するにしても、条例をつくるなど市の姿勢を示すべき。



マイナンバーカードの 健康保険証利用の現状は

令和3年10月から開始されているが、医療機関の対応が進んでいない。令和4年3月時点で市内50程度の医療機関で健康保険証として利用できる状況である。マイナンバーカードの交付申請も増えてきているので適切な周知に努めていく。

(担当部局：地域生活部)



対象医療機関・薬局
(厚生労働省 HP)

生活環境
委員会



手話による市政情報の発信

4月からテレビ放送における市政番組の画面上に手話通訳を表示する。手話を第一の言語とされている方にも情報を発信していこうとするものであり、「山口市みんなの手話言語条例」の施行を契機として、意思疎通支援をステップアップさせる充実策を考えている。

(担当部局：総合政策部)



誰もが手話を使用しやすい環境へ(画面のイメージ)



消防団の処遇改善は

国が策定した「非常勤消防団員の報酬等の基準」を踏まえて条例を改正し、団員の労苦に報いることにつながる処遇改善を行う。

これまでの消防団員の年額報酬に加え、費用弁償として支払っていた「出勤手当」を新たに「出勤報酬」として位置づけ、その支給単位を「1回につき」から「1日につき」に改める。また、災害出勤及び警戒出勤、訓練出勤及びその他の出勤の1日当たりの報酬額をそれぞれ増額する。

(担当部局：消防本部)

総務
委員会

総務
委員会

市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市



★議員が何を質問したか、読んでみましょう!

★質問と答弁の映像は、各議員の二次元コードから見る事ができます。

※必要な場合には、二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。

※情報の受信にかかる通信料は、利用者負担となります。

★一般質問の制限時間は、質問と答弁をあわせて50分です。

予算 新年度当初予算編成に向けた市長の思いを伺う

令和4年度
当初予算
(市ウェブサイト)



問 市長は令和4年度当初予算について、どのような思いで、どのような点に重点を置いて編成されたのか伺う。

答 新型コロナウイルス感染症へ全力で対応する、新市発足以降のまちづくりを着実に仕上げる、新しい時代の流れにしっかりと対応し本市の持続的な発展につなげていくという3つの思いの下で積極型予算として取りまとめた。令和4年度はこうした思いで編成した予算に基づき、新型コロナウイルス感染症への全力対策、未来に向けた農山村・21地域づくり、将来にわたって発展する県都づくり、今の暮らしを豊かにするまちづくりの4つの施策に重点を置き、住んでよかった、これからも住み続けたいと心から思える、ずっと元氣な山口市の実現に向けて取り組んでいきたい。



自由民主党山口
湊 和久

みなと かずひさ



都市 新市長の考えを問う。農山村エリアの振興とは?

問 後期基本計画の架け橋となる令和4年度当初予算編成の基本的な考え方において、農山村と都市部が共生共生する未来都市づくりを進めていくとされている。とりわけ人口減少に歯止めがかからない厳しい現状にある農山村エリアの振興について、現時点での市長の考えを伺う。

答 農山村エリアの振興は後期基本計画における重要な方向性にとらえ、暮らしやすい農山村づくりと、にぎわいと活力あふれる農山村づくりを検討の方向性と考えている。農山村エリアの地域経済の活性化や日常生活機能の維持確保、受け継がれてきた豊かな自然環境・歴史・文化を後世につなげることが農山村エリアの発展につながり、ひいては本市全体の発展につながることを考えている。



県都創生山口
坂井 芳浩

さかい よしひろ



施設

“ココロドル” (仮称) 湯田温泉パークに!



(仮称)湯田温泉パークのイメージ

問 本施設は施設機能や設備など最高の水準であると思うが、どこにも誇れる本施設の特徴を伺う。

答 湯田温泉の恵みと全天候型の大屋根広場の下で市民や観光客の交流を生み出し、あらゆる世代が施設を丸ごと楽しめる仕掛けを整備する。また、車いすのまま入浴できる貸切風呂、湯あみ着の導入、複数のバリアフリートイレやユニバーサルシート設置などユニバーサルデザインを強く意識した施設とする。温浴施設の利用料金は原則500円程度を想定しているが、子供は無料、70歳以上は外出機会の促進や健康増進の企画事業として割引を考えている。



公明党
其原 義信

そのはら よしのぶ



都市

次の世代につなぐ南部地域の振興

●その他の質問
○新型コロナワクチン3回目接種の取組について

問 今後の山口市南部の振興について、どのような未来を描いているか伺う。

答 良好なアクセス環境を生かした産業の振興と、これまで以上に質の良い生活環境を整備すること、また、豊かな自然環境や歴史・文化などの地域資源を将来にわたらずにつないでいくことで、さらに人々が引き寄せられる好影響・好循環のまちづくりを実現していく形が発展の方向性と考えている。今後とも南部地域が持続的に発展を続けていけるよう新しい時代の流れにもしっかりと対応しながら、南部地域の発展の方向性を後世へと引き継いでいく取組を展開していく。



ふるさと共創やまぐち
富田 正朗

とみた まさろう



都市

一層の人づくり、まちづくり、産業づくりを!

問 県都として一般市から中核市移行に向け人口要件緩和を国へ働きかけるべき。

答 山口市政百年の計である中核都市づくりは中核市に期待される役割・機能と方向性は同じものと認識している。本市が中核都市推進にふさわしい都市であることを国へも伝えながら県都としてのまちづくりを進めていく。

問 樺野川川下や河口域において、ノリ、アサリ等に加えシジミまでとれなくなつた。抜本的なしゅんせつが必要であり河口域の土砂除去及び整備のための新しい法律の制定を国へ働きかけるべき。

答 関係団体からのしゅんせつへの要望は出ていない。管理者である県からも事業を行うことは難しいと聞いている。新法律制定の国への要望も選択肢の一つと考える。



高志会
氏永 東光

うじなが とうこう



行政

新本庁舎整備の41億円増額は見直し事業費縮減を

問 本庁舎建替しの事業費として130億円〜150億円程度との前市長答弁を覆し、現在約190億円となっている。庁舎建設部分だけで146億円は過大。鳥取市のような出来る限りの費用抑制、市民への情報提供等、みんなで作るといふ姿勢を見習うべき。既存の施設や機能を活用し本庁のスリム化を求める。

答 山口市核づくりの主要プロジェクトとして、にぎわい創出や回遊性強化を図るため、市民交流棟、広場の整備等に取り組む。新たな庁舎は行政拠点のみならず中心商店街などとの回遊性向上、まちのにぎわいや交流の輪を広げる役割も担う必要がある。こうした機能を確保しつつ費用対効果に優れた設備機器等の検討等、維持管理費も含めた縮減に努めていく。



日本共産党
大田 たける

おおた たける



行政

多文化共生！公立日本語研修学校設立を提案

問 人口減少、少子化対策には外国人材の活躍が欠かせない。日本は人口減少だが世界人口は2021年で約79億人、2050年には約98億人と予想されている。先進国では外国人材の獲得競争が始まっているが、外国との賃金格差が縮まってきたため日本の人気は落ちてきている。また、日本語学校のほとんどが私立であり費用も高い。そこで、外国人が安心して学べる公立の日本語学校をつくり、外国人が山口市を選ぶきっかけとしてはどうか。

答 これまでも日本語に不慣れな外国人市民を対象に週1回のペースで日本語講座を開催している。本講座を引き続き開催し授業の質の向上に努め、多くの方に参加してもらえよう周知し、日本語を学ぶ機会の確保に努める。



市民クラブ
部谷 翔大

へや しょうた



福祉

QRコードなどを活用した見守り体制の整備

問 認知症の行方不明者を早期発見・保護する「山口市ほっと安心SOSネットワーク事業」の利用状況と今後の展望を伺う。

答 本年2月末現在までの登録者数は135人、協力事業者は39事業所となっている。平成29年度からは、行方不明者を見かけた市民が、携帯電話で読み込むことで家族へメール連絡が届く仕組みのQRコードを表示したシールを登録者へ無料配布しており、引き続き、民生委員や福祉員等へ周知を図っていく。また新年度からは、行方不明者の早期発見のため、発信機を靴やキーホルダーに組み込み、迅速に位置を特定する位置情報発信機器の購入費等を一部助成する。こうした新たな取組についても支援関係者へ周知し取組の強化を図る。

山口市
ほっと安心SOS
ネットワーク



県都創生山口
山本 貴広

やまもと たかひろ



農業

施設園芸農業の推進

●その他の質問
○山口市スマートシティ推進ビジョン
○放課後児童クラブの整備

問 農業の所得を上げる施設園芸農業の推進について令和4年度の予算措置は。

答 法人等が新規就業者の受入れや定着に向けて園芸作物の規模拡大を行う場合に補助事業として、施設用ハウス等の整備に対する助成や小規模農家に対しても農業施設や機械の導入の支援を新たに行うこととしている。さらに、施設園芸農業の安定的かつ持続的な発展のため、スマート農機の導入やICT機器の導入に対する補助制度も設けており、引き続き、デジタルトランスフォーメーションを活用した施設園芸農業の促進にも努めていく。



高志会
伊藤 青波

いとう しょうは



観光

住んでよし・訪れてよしの観光地域づくり

問 環境の保全や伝統文化の保存・継承等につながる持続可能な観光地域づくりについて市の考えを伺う。

答 令和4年度の新規事業である「山口ゆめ回廊」つなぎ創る未来共創事業の中で地域主体の着地型観光プログラムに取り組み人を中心にネットワークを形成し、課題解決や先進事例を学ぶ研修、事業実施者同士の情報交換など、後継者の確保、人材育成等に取り組みしていく。持続可能な観光の推進に資する本市固有の歴史・文化や豊かな自然といった地域資源を活用する取組を通じ、住んでよし・訪れてよしの山口市の実現を図りたい。



野田神社能楽堂での薪能



自由民主党山口
入江 幸江

いりえ せちえ



都市 木戸山峠改良の早期実現

●その他の質問
○第二次山口市総合計画後期基本計画における過疎対策について

広域道路ネットワーク
(山口県HP)



問 広域道路ネットワーク強化の方向性について伺う。
また、農山村の経済活動の維持、災害時の救急活動等や多重性・代替性の確保の観点から、国道9号のバイパス化などの機能強化を国や県に強く要望をしていく時期にきていると考えるがどうか。

答 現在、国道2号の防府市台道から鑄銭司までの4車線化、歩道の設置に向けた取組を展開しているが、国道9号も同様に重要な路線と認識している。あわせて、しっかりと国に対して整備を要望していきたい。また、市独自の国道9号の改築の在り方についても検討を深めていきたい。



自由民主党山口
原 真也



協働 どう生かす?地域の未来づくり促進特別交付金!

●その他の質問
○第二次山口市男女共同参画基本計画について

問 令和3年度に新たに創設された交付金の目的と方向性について伺う。

答 既存のまちづくり交付金による従前の取組とは別に、新たな取組を後押しすることを目的に創設したもので、地域活性化や地域課題の解決につながる新たな視点の取組や、既存事業をさらに改善するための取組への対応等が、財源的な制約から難しくなっている状況を踏まえ、新しい生活様式に対応した取組等に活用ができるものとしている。令和3年度は8地域10件の取組に活用され、令和4年度も複数の地域から問合せがあることから、地域の柔軟な取組の一助となるよう周知と活用の推進に努めていく。



ふるさと共創やまぐち
植野 伸一



環境 市が率先して電気自動車の購入を!

●その他の質問
○景気対策について
○新本庁舎整備について



問 パリ協定を契機に、多くの国や地域が新車販売でゼロエミッション車100%等の目標を掲げており、脱ガソリン車の潮流を加速する方向で動いている。ゼロカーボン・ドライブを進める上で市が率先して電気自動車の購入を進めるべきと考えるが市の対応を伺う。

答 電気自動車の導入を計画的に進めていくことについては、山口市ゼロカーボンシティ宣言をした本市においては重要なことであると考えている。今後の新本庁舎整備に伴う庁用自動車の共用化や台数の見直しを進めるとともに、車両の更新時期に合わせて電気自動車の購入またはリースを検討していく。



公明党
桜森 順一



行政 まちづくりアンケートの調査手法について

山口市
まちづくり
アンケート



問 新市発足以降、毎年実施している「まちづくりアンケート」について、市民ニーズ把握の精度を上げ施策に反映させるためには手法を改める必要があると思うがいかがか。

答 アンケートは、総合計画の進捗状況や各行政分野に対する市民の満足度と重要性を把握するために実施しており、その結果を翌年度以降の予算編成等に反映させている。平成30年からはスマートフォンやパソコンでの回答を可能としたところ2割の方がウェブで回答され、集計作業などの職員の負担軽減につながっている。デジタル化によって生み出された予算と職員の時数を、職員が地域に向き直接市民の声を聴くことに充てるなど、より効果的な手段を検討していく。



県都創生山口
野島 義正



交通

農業試験場周辺の渋滞解消は早急に取り組む課題！

- その他の質問
- 今後の地域経済の対策
- 徳地やまのいの振興
- 徳佐八幡宮のしだれ桜
- やまぐちアート「ミニユニター」の今後の展開



渋滞時の山口防府線（大内地域）

問 県道山口防府線の渋滞解消は喫緊の課題であるが、農業試験場跡地利用が検討される今、市の対応を伺う。

答 県と市の役割分担の下、現状の道路構造の再検証により車両通行帯の再検討、交通量に応じた交差点滞留長の改善、信号制御の調整といった対策が考えられる。周辺生活道路においては、道路改良、交通安全施設の機能強化、交通規制の見直しと検証といった対策を検討する。



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎

たけなか いちろう



介護

年金で入れる高齢者施設を

- その他の質問
- 介護保険利用料の負担軽減
- 市職員による公職選挙法違反
- 女性の活躍



問 国民年金の平均月額は5万数千円。厚生年金は男性16万6千円、女性10万2千円だ。特別養護老人ホームでも約10万円の費用がかかり、低所得の第一段階でも約5万円の負担となる。その他日常生活費やサービスの加算も含めれば国民年金では賄えない。高齢者が年金で施設に入れるよう対策を講じるべきだ。

答 所得状況に応じて一か月あたりの利用料に限度額が設けられており、制度的には賄えていると認識している。高齢者の家庭環境、所得等を考慮した居住場所の確保に努め、希望する施設に入居できるように対応していく。



日本共産党
尾上 頼子

おのうえ よりこ



生活

より活用しやすい事業に!!

- その他の質問
- （仮称）湯田温泉パーク



問 安心快適住まいる助成事業については、募集開始後すぐに予算額に到達するのではないかと懸念している。また、現状では行政によって閑散期・繁忙期が作り出されており、工事開始時に業者が出払っている、梅雨の影響等で工期が延びるなどの問題を抱えている。募集時期の分散や1件あたりの助成額について、さらなる検討が必要ではないか。

答 新たに導入するデジタル商品券の動向も踏まえ、これまで同様の募集時期、助成率で実施したいと考えるが、限られた財源の中リフォーム助成を通じた市民生活の質の向上と商品券を通じた市内消費の促進による事業者支援に取り組みたい。



市民クラブ
野村 雄太郎

のむら ゆうたろう



観光

山口県央連携都市圏域ビジョンについて！



問 山口ゆめ回廊博覧会を終え、今後の圏域連携における広域観光振興策を伺う。

答 博覧会を通じて培った着地型プログラムやSNSを活用したプロモーション手法、マイクローリズムの仕掛けづくりなどの貴重な財産を7市町で共有・継承するとともに新たな人・モノ・資金・情報の流れを7市町に循環させていく。加えて、7市町の観光プロジェクトチームを中心とした推進体制組織の下、デジタルクーポンを活用した周遊事業の実施や2025年「大阪・関西万博」に向けたプロモーションなど、広域連携の活動範囲を国内外に拡大し段階的・持続的に事業展開を行うことで、交流人口と関係人口の増加を図り、持続可能な山口県央連携都市圏域の実現に取り組む。



自由民主党山口
馬越 帝介

まごし ていすけ



小郡都市核における起業・創業支援



若者が根差し活気あふれる地域を！！

問 地域に根差す人材の育成に向けた今後の展望を伺う。

答 小郡都市核や本市を牽引していく人材の育成から、その先の地元への定着につなげていくことは大変重要であると認識している。本年4月に産業交流拠点施設の隣地に開校される県立松風館高等学校をはじめ、大学等との連携を強化し、企業と学生をつなぐ機会の創出など産学官が連携した取組を進める。各地域の担い手の創出に向けた取組については関係部局が多岐にわたるが企業・創業支援をふるさと産業振興課が取りまとめながら、若者の移住・定住そして地域定着の部門にもつなげていきたい。



ふるさと共創やまぐち

中野 光昭

なかの てるあき



市民の命を守る取組の推進を！

から、見える防災アラートに取り組み際には協力を働かかていきたい。



問 災害の危険を視覚に訴える「見える防災アラート」として、橋梁等や市有施設のライトアップが有効と考える。また、民間の協力による広告用の大型屋外モニターや建物等の活用について伺う。

答 視覚的に災害の危険が迫っていることを伝達する方法は、文字情報だけでなく色の変化によって危険を伝えることができるという点で分かりやすく有効であると考ええる。運用にはシステムの構築や連携などの課題もあるため、まずは導入自治体の効果検証の結果や費用対効果について研究したい。また、民間施設のライトアップや電子看板等の活用も、より多くの方が避難情報等取得する機会となることから、見える防災アラートに取り組み際には協力を働かかていきたい。



公明党

山本 敏昭

やまもと としあき



市民が協力して進める地球温暖化対策



問 温室効果ガス排出ゼロに向け、市民の果たすべき役割をどのように考え、理解や協力を求めているのか。

答 国の削減目標を達成するためには、家庭部門を担う市民の役割が重要であり、理解と協力が不可欠と認識している。令和4年度の山口市地球温暖化対策実行計画の改定にあたり、目標達成に向けたロードマップを作成するとともに再生可能エネルギー由来の電力契約の選択や省エネ機器への転換など、取組内容ごとの削減目標をわかりやすく市民に伝える。また、エネルギー消費量の見える化やエコな行動に対するポイント付与など、より効果的な機会を提供することで市民の地球温暖化問題への一層の理解や積極的かつ自主的な行動変容につなげていきたい。



市民クラブ

山見 敏雄

やまみ としあ



※ 水田活用の直接支払交付金

問 国は今年から今後5年間で米を作付しない水田を水田活用の直接支払交付金の対象から外す等、補助金の減額を強行しようとしている。減反を押しつけた上に、転作経営に不可欠な交付金を奪い取る施策は許されない。市は国に対し、米を作付することに対しての交付金の復活を強力に要請すべき。

答 令和4年度当初予算において、小規模農家に対しても農業施設や機械の導入を支援する事業を新たに設け、安心して農業を続けられる環境づくりに取り組むこととしている。米の作付に対する交付金については、米農家の経営を支援する有効な制度の一つと考える。引き続き、農業者の所得安定対策等に係る制度の拡充について市長会等を通じ国へ要望していく。

※ 水田活用の直接支払交付金

水田を活用し、麦・大豆、飼料作物等を生産する農業者に対し、国が直接交付金を交付するもので、市場や消費者を重視した需要に即した米への転換も促す。



日本共産党

西村 芳和

にしむら よしかず



交通 高速道路の利用促進と渋滞緩和策

高度道路交通システムは、最先端の情報通信技術により、人と道路と車両とを情報でつなぎ、交通事故や渋滞等の道路交通問題の解決を目的に構築される新しい交通システム。

※高度道路交通システム
最先端の情報通信技術により、人と道路と車両とを情報でつなぎ、交通事故や渋滞等の道路交通問題の解決を目的に構築される新しい交通システム。

問 移動時間の短縮や燃費向上、排出ガス抑制のため、高速道路を1区間100円で利用できるようにしてはいいか？

答 NEXCO西日本では平日の朝夕、100km相当分までの利用料金を最大50%還元する割引を実施しており、こうした制度のPR等を含め、市内移動の高速道路の利用促進について検討したい。

問 大内地域内の渋滞緩和策として、AI等を駆使し、渋滞情報やスムーズに通行できる路線を案内する電光掲示板を整備してはどうか？

答 交通量の配分は渋滞緩和に大きな効果があると考えているが、まずは、現在の案内標識の内容の検討を行い、県等関係機関と協議を進めたい。また、現在、国が構築を進めている高度道路交通システムの普及・効果に期待したい。



県都創生山口
瀧川 勉



国際 G7関係閣僚会合の山口市誘致成功に向けて



出典：G7伊勢志摩サミット
公式ホームページ (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/summit/ise-shima16/>)

問 市は、令和5年に開催されるG7関係閣僚会合の誘致を進めている。誘致の目的や現在の進捗状況、今後のスケジュールについて伺う。

答 閣僚会合の誘致開催による経済波及効果や広告宣伝効果、今後の誘致促進にもつながる絶好の機会と捉えており、コロナ禍で落ち込んだ地域経済の回復、拡大への起爆剤となると期待している。現在、県が積極的に取り組んでいるデジタル化の取組や本市のスマートシティの推進に資する考えから、情報関係閣僚会合に目標を絞り誘致を進めている。国内の開催地は本年6月にドイツで行われるサミットまでに決定される見込みである。



ふるさと共創やまぐち
宮川 英之



市の組織改編に伴い、常任委員会の所管・名称を変更しました

今定例会では、令和4年4月1日から市役所の組織を改編するための条例改正の議案が市長から提案され、可決しました。

それに伴い、議会の各常任委員会が所管する部局等について、議会運営委員会において検討を行い、山口市議会委員会条例の一部を改正する条例を委員会提出議案として提案し、可決しました。これにより、専門的な審査を行う常任委員会において、関連する施策を組織横断的かつ効率的に審査することを目指します。

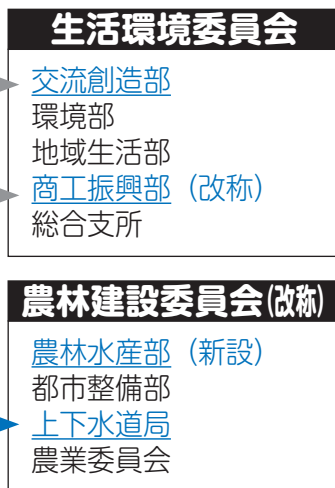
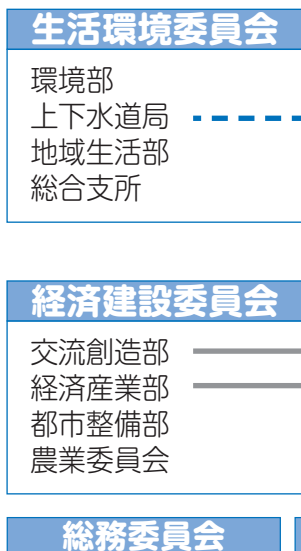
4月1日の組織改編とは…

伊藤市長の公約のひとつである農林水産部の設置をはじめとした組織の見直しを行うものです。

詳しくは市報4月1日号をご覧ください。



市報
4月1日号



地域や環境などの生活に関すること、商業や観光、交流人口の拡大に関することなどを所管する部局について専門的に審査します。

農林水産業に関すること、道路や河川、上・下水道などの都市建設に関することなどを所管する部局について専門的に審査します。



豊富な森林資源を生かす林業

総務委員会

教育民生委員会

予算決算委員会

については変更ありません。

議会からのお知らせ

市議会ホームページ リニューアルしました

市民の皆さんの生活や将来を話し合う市議会の情報を、わかりやすく
身近に感じていただけるようホームページをリニューアルしました。
いつでも見られるようにスマートフォンにも対応しています。

スライドショーで議会中継や
会議録検索、定例会の開催な
どをわかりやすく告知します

市のホームページとも
連携して新着情報をお知らせします

メニューが整理されて
いて探している情報に
すぐにたどりつけます

大きなメニューを選ぶ
と詳しい項目が表示
されます

スマートフォンで見るときはメニューが
自動で並び替えられてわかりやすく
表示されます

これからも見やすくなる
工夫を続けます
ぜひ一度ホームページを
ご覧ください

旧ホームページトップ
ページ

山口市らしく、あたたかみのある
暖色を基調としています

<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>

ホームページアドレス(URL)が変わりました。

インターネット検索では、当分の間、旧ホームページが優先して検索される場合もあり
ますが、旧ホームページにアクセスされても新ホームページに自動でご案内します。
※ブックマークやお気に入り登録は変更してください。



山口市議会
ホームページ

議会改革「自由討議」 議員同士で考えを出し合い 理解を深めるために

自由討議とは、議会の会議において、議員同士で自由に議論する場を設け、活発な
意見交換を行い理解を深めることを目的とするものです。

これまで、予算議案を審査する各分科会のみで行われていましたが、議会改革の
一環で、各常任委員会においても実施することとしました。

常任委員会においては、議案や市民からの要望、定例会前に執行部から説明のあつた
事案や議会で大きな議論となっている事案など委員長が必要と認める事項について、
議員同士でより深く意見を交わし今後に生かしていきます。



議会の主な動き



12月

- 28日 市議会だより等編集委員会
(以下「編集委員会」)

1月



山口市消防出初式(1月9日)



山口市成人式(1月9日)

- 11日 会派代表者会議
- 13日 編集委員会
- 17日 議会運営委員会、議員研修会

2月

- 2日 議会運営委員会
- 8日 新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会
- 14日 議会運営委員会、会派代表者会議、執行部説明会
- 18日 第1回定例会初日(～3月17日最終日)
- 21日 議会運営委員会
- 28日 編集委員会

3月

- 2日 広報広聴委員会
- 3日 議会運営委員会



山口市美術展覧会表彰式(3月6日)

- 15日 新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会、議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会、編集委員会、会派代表者会議

おいでませ山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

□受け入れ団体(12月～3月)2団体

12月22日 山梨県議会

1月14日 愛知県安城市

行政視察を通じ、本市の魅力をPRしてまいります。

編集後記

4年間という短い時間ではありましたが、市議会で学んだ様々な課題はステージを変えて、引き継ぎ、取り組みたいと考えています。今後の市政の益々の発展を祈りつつ、市議会だよりをご愛読いただいた皆様へ編集委員の一人として厚く御礼申し上げます。(中島)

議会だよりづくりは市民への広報と併せて、議案の議決、政策提案、行政の監視という議会の役割を再確認する機会でもあります。市民のための新たな仕組みづくりを行政に働きかけることが必要だと考えさせられました。(氏永)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…6/1(水)まで 請願の受付…5/25(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
6/5	6	7	8	9	10	11
	本会議 (初日) 10:00～					
12	13	14	15	16	17	18
	本会議 10:00～ (一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算 委員会		
19	20	21	22	23	24	25
	教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～		予算決算 委員会 10:00～		
26	27	28	29	30	7/1	2
	本会議 (最終日) 10:00～					

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ホームページ
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継
<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号

電話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658

メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp

あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

山口市南部の4つの幼稚園を統合してオープンした『山口みなみこども園』園舎の完成記念式典のテープカット風景です。幼稚園と保育園の機能・特長を併せもつ公立初の認定こども園です。

市議会だより等編集委員会

委員長 倉重 浩 副委員長 大田たける
委員 泉 裕樹・湊 和久・中島裕一・野島義正
山本貴広・山本敏昭・植野伸一・氏永東光
野村雄太郎

次号は8月です